

Information

公益財団法人

大学コンソーシアム京都



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

はじめに

京都には、数多くの大学・短期大学が集積しています。その都市特性を活かすため、京都市と大学を中心とした産学公の連携により、1994年に全国初の大学連携組織である「京都・大学センター」が設立されました。設立以来、単位互換事業やインターンシップ事業など、全国に先駆けた様々な事業を実施してきました。2010年7月には内閣府より認可を受け、公益財団法人に移行し、現在は約50の大学・短期大学に加え、地方自治体・経済団体も参画する全国最大規模のコンソーシアム組織に発展しています。

グローバル化や少子高齢化をはじめ、私たちを取りまく社会環境は大きく変化しており、幅広い視野を持って社会を担う人材の育成や留学生受入れの拡充、更には地方創生の推進拠点としての位置付けなど、大学・短期大学に求められる社会的要請はより一層高まりを見せています。このような中、各大学・短期大学が、それぞれの特長や個性を活かした教育の質向上に努めるとともに、京都地域全体の魅力向上のため、大学連携組織としての当財団の果たすべき役割はこれまで以上に大きくなっています。

これからも、大学コンソーシアム京都では、その時々の変化や大学・短期大学、学生や市民の皆様のニーズに対応しつつ、「大学のまち京都・学生のまち京都」の発展を目指し、事業を推進してまいります。

大学コンソーシアム京都の主な事業



教育事業



インターンシップ事業



FD・SD・高大連携事業



学生交流事業



国際事業



調査・広報事業



その他事業

大学コンソーシアム京都の主な事業



◆教育事業

◆単位互換事業

約50の加盟校はそれぞれが特色ある科目を開設しています。それら科目の一部は大学コンソーシアム京都と加盟校との協定に基づく単位互換制度により、他大学・短期大学の学生も受講することができ、ここで得た授業科目の単位は自校の単位として修得したものとみなされます。大学コンソーシアム京都では、前身の「京都・大学センター」が発足した1994年から本制度を運用しており、多くの学生が利用しています。2015年度からPBL (Project Based Learning) の学習手法を取り入れた「京都世界遺産PBL科目」を新設し、京都ならではの科目を提供しています。



世界遺産を学びのフィールドとする「京都世界遺産PBL科目」

◆生涯学習事業（京カレッジ）^{みやこ}

大学の授業科目を市民に提供する「シティーカレッジ」を1997年に京都市と協力して開始し、その後2007年より「京（みやこ）カレッジ」と名称を変え、高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応える生涯学習事業として実施しています。現在は、十数年の歴史を持つ「京都学講座」をはじめ、加盟校により開講された特色ある授業や公開講座に毎年1000名を超える市民が参加しています。



京都の様々なテーマを取り上げる「京都学講座」

◆インターンシップ事業

大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムは、就職活動や単なる就業体験としてのインターンシップではなく、実体験と教育研究の融合による「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的とした教育プログラムです。また実践から「働く」を考え、社会人基礎力を育成するカリキュラムを持ったキャリア教育として、毎年400名を超える学生が受講しています。



200を超える企業・京都市他自治体でのインターンシップ

インターンシップ・プログラム コース紹介

●プログレスコース

約5ヶ月間、企業・行政機関・非営利組織（NPO・NGO等）が提示したテーマを実現するプロジェクト型のコースです。プロジェクトを通して、さまざまな角度から実社会を見つめ、現状を把握する力、課題を発見する力、その課題を解決する力を身につけることを目指しています。

●ビジネス・パブリックコース

企業・行政機関・非営利組織（NPO・NGO等）において2週間～1ヶ月程度の実習を行う短期実践型のコースです。事前学習、実習、事後学習という体系化された学習プログラムを通じて、実社会への理解を深め、社会性を身につけるとともに、実習後の学生生活における課題の整理と目標を明らかにすることを目指しています。

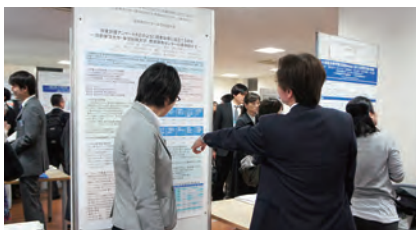
◆ FD・SD・高大連携事業

◆ FD 関連事業

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組として、大学コンソーシアム京都では設立間もない1995年から加盟校と共に京都地域におけるFD活動を推進しており、FD活動の普及、大学教育、授業改善に関する実践・研究報告及び人的交流の場の提供、京都におけるFD活動の情報発信を目的として「FDフォーラム」を開催しています。また、加盟校の学長や副学長、部長レベルの各大学執行部層を対象とする研修プログラム「京都FD執行部塾」、FD担当者・推進者を対象にFD活動のリーダーを養成する「京都FDer塾」、「新任教員FD合同研修プログラム」などを実施しています。



日本最大級のFDイベント「FDフォーラム」



FDフォーラム ポスターセッション



新任教員FD合同研修プログラム

◆ SD 関連事業

加盟校の大学職員を対象とした管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための様々な研修事業を展開しています。SD分野で関心の高まっているテーマを採り上げ、基調講演および分科会における事例報告や意見交換を通じて、大学職員のスキル向上や大学の枠を越えた情報交流の場を提供することを目的とした「SDフォーラム」をはじめ、「SDワークショップ研修」「大学職員共同研修プログラム」、2015年度からは次世代の大学運営を担うプロフェッショナル職員の育成を目的とする「SDゼミナール」を実施しています。



連続講義形式のSDゼミナール



大学職員共同研修「ビジネスマナー研修（基礎編）」



SDガイドブック

◆ 高大連携事業 京都高大連携研究協議会 * 事業

高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における「国内動向の情報共有と京都における取組の情報発信」を目的として2003年度から開催しています。毎年、高大連携・接続教育に関する有益なテーマを設定し、そのテーマにおいて第一線で活躍する講師による講演や実践事例紹介、ディスカッション及び教科ごとの分科会を実施しています。

キャリア教育プログラム

高校生の大学への進学意欲の喚起だけでなく、高校から大学、大学から社会へと繋がるキャリア意識の醸成を目指し、様々なキャリア教育プログラムを展開しています。京都府内の高校生が大学生や社会人と交流することで、学習・進学意欲の喚起と将来設計の一助にしてもらうことを目的とした「まるっとく」、高校生・大学生にそれぞれの将来について考えていただき、自身のキャリアを意識することや大学や高校で学ぶことの大切さに気付いていただくことを目的とした「高大連携フューチャーセッション」などを展開しています。



高大連携教育フォーラム



まるっとく



高大連携フューチャーセッション

* 京都高大連携研究協議会 | 京都で学ぶ生徒・学生に真の学びを提供し、将来の社会を担う人材育成に取り組み、高大連携教育の高度化と地域貢献をめざして2003年5月に発足。
構成団体は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所、公益財団法人大学コンソーシアム京都。

◆ 学生交流事業

◆ 京都学生祭典

京都学生祭典は、学生の力で京都を盛り上げようと2003年から毎年10月、平安神宮・岡崎公園一帯（京都市左京区）をステージに繰り広げられる一大イベントです。祭典は、京都の学生を中心に構成する実行委員会が企画・運営を行い、京都府、京都市、経済界、大学が「オール京都」体制でバックアップしています。実行委員会は、祭典のPRや地域との交流など年間を通して活動しており、大学コンソーシアム京都では、学びの場の提供など実行委員会の活動を支援しています。



京都学生祭典本祭（平安神宮前ステージ）

◆ 京都国際学生映画祭

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭です。実行委員会は、国内外を問わず、広く学生監督らの映画・映像作品をコンペ形式で募集・選考を行い、京都国際学生映画祭（11月開催）で上映することで、京都から若き才能の発掘と映画文化の発信、映画人材の国際交流をめざしています。大学コンソーシアム京都は、京都国際学生映画祭の主催者として、実行委員会の年間を通じた活動をサポートしています。



京都学生祭典本祭 京炎みこし

◆ 障害学生支援

2016年4月に「障害者差別解消法」が施行され、大学では障害学生支援担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有が必要となっています。大学コンソーシアム京都は、そのネットワークの構築をめざして、「関西障害学生支援担当者懇談会」を主催し、障害学生支援担当者が意見交換を行える場を創出しています。また、学生へは聴覚障害学生の情報保障の手段であるノートテイクやパソコンテイクの理解やスキル向上を目的に、ノートテイク・パソコンテイク養成講座を提供しています。



京都国際学生映画祭（京都シネマ）



関西障害学生支援担当者懇談会（キャンパスプラザ京都）

◆ 国際事業

◆ 海外留学派遣プログラム

オーストラリアビクトリア州の大学連携体との協定を契機に、大学の枠を越えて京都地域の大学生が国際交流へのアクセスを確保できる状況を生み出すべく、単位互換事業を活用した留学派遣プログラムを実施しています。

◆ 英語で京都をプレゼンテーション

日本人学生が海外留学の際などに英語で京都や日本のことを紹介できるよう、伝統文化やポップカルチャー、現代社会についての表現方法を学ぶとともに、実際にプレゼンテーションを体験するプログラムを実施しています。

◆ 留学生スタディ京都ネットワーク

2015年度より「大学のまち京都・学生のまち京都」における留学生の誘致、受け入れ態勢の整備を推進するため、加盟校・日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、公的機関等「オール京都」による連携組織「留学生スタディ京都ネットワーク」を創設し、大学コンソーシアム京都がその事務局として各事業を進めています。

◆ 短期留学受入事業

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を伝え、京都の大学への留学につなげるため、京都市との協働により、大学での講義、体験・交流プログラムなどからなる2週間の短期受入れプログラムを実施しています。

(例年、夏季・冬季の2回実施)

◆ 留学生就職支援・交流コミュニティ

留学生の就職にかかる選択肢拡大を図るとともに、地元企業の国際化を支援する観点から、留学生に「京都を学び、地元産業を理解し、地元企業を志向する」プロセスを提供する就職支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy」を、文部科学省からの採択を得て、運営しています。



加盟校の学生が参加する海外留学派遣プログラム



留学生の就職や交流を支援する KyoTomorrow Academy



京都の大学への留学につなげることを目的とする短期留学受入事業

◆ 調査・広報事業

◆ 地域連携事業

学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）

魅力ある地域づくりや地域の課題解決に向けて、大学・学生が京都市内の地域と協働で取り組む事業を募集し、優れた取組に対して助成支援しています。これにより、実践的な教育・研究機会の提供および人材育成、地域にとっては大学の知や学生の活力による地域の課題解決や活性化を図ります。

「学まち連携大学」促進事業

京都市内をフィールドとして地域と連携した実践的な教育プログラムの開発及び実施に取り組む大学に対し助成を行い、大学を挙げた地域連携の取組を支援しています。

まちづくり事例集

京都地域において、各大学で取り組んでいる学生（大学およびゼミ・サークルなど）と地域や市民が連携・協働した取組を大学コンソーシアム京都ホームページにて紹介することで、地域連携の促進・情報の共有を図っています。



京都市長から認定を受け、地域と協働する学まちコラボ

◆都市政策研究推進事業

京都から発信する政策研究交流大会

都市が抱える課題を見つけ、それを解決するための研究を行う学生に発表機会を提供するとともに、教員を含めた研究交流の機会とし、それぞれの成果の発表と研究を深化させることを目的として実施しています。

大学の知を活かした多角的な市政研究事業

京都ならではの大学の知を京都市の政策や事業に活かすことで、大学の研究者の研究成果を地域・社会へ還元することを目指し、指定するテーマについて、大学の研究者のグループからなるユニットを構築して多角的な観点から調査研究を行っています。



政策研究交流大会での学生によるポスターセッション

◆調査企画事業

大学コンソーシアム京都が行う事業の客観的な評価及び効果検証を通して、今後の事業改善・事業開発に役立てることを目的とし、事業データの収集・分析・指標設定や指定調査課題の策定・運営を行っています。

◆広報事業

18歳人口の長期的な減少が予想される中、「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を、将来大学生となる全国の高中生に向けて積極的に発信していくため、次のような取組を行っています。

●京都学生広報部

全国の高中生に向けて、京都で学ぶ大学生が、学生生活を送る中で実感する「大学のまち・学生のまち京都」の魅力を、ウェブサイト「コトカレ」(<https://kotocollege.jp/>)やSNS等で発信しています。



●京都 B&S (Brother & Sister) プログラム

2014年度から京都市・JTB 西日本京都支店と協働で、京都の大学生が修学旅行生や校外学習生を大学と観光地へ案内する教育旅行プログラムを実施しています。この取組により、中高生と大学生双方への教育効果が期待されます。



◆その他事業

◆施設管理事業

大学コンソーシアム京都では、京都市から指定管理者として委託を受け、「京都市大学のまち交流センター（愛称：キャンパスプラザ京都）」の管理・運営を担っています。キャンパスプラザ京都は、講義室、演習室、会議室、ホール等の施設を備え、大学の講義や公開講座、研究会といった利用のほか、一般にも施設を開放することで、大学と産業界、地域社会等との間の連携及び交流を促進しています。

◆全国大学コンソーシアム協議会事務局運営

大学コンソーシアム京都が事務局を担う全国大学コンソーシアム協議会は、国内各地域の大学コンソーシアム（大学連合体・大学連携組織）からなる協議会組織であり、各大学コンソーシアム間の情報交流・研究交流を図る組織として2004年11月に設立されました。全国47の団体が加盟し、高等教育の発展に資するべく、各大学コンソーシアムの取組や研究成果等の発表の場として、年1回、全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムを開催しています。

◆勤労学生援助会事務局運営

大学コンソーシアム京都に事務局を置く勤労学生援助会では、学費や生活費をアルバイトや奨学金に頼りながら学業に励み、人物・学業とも他の学生の模範となる学生を表彰し、奨学金を給付しています。

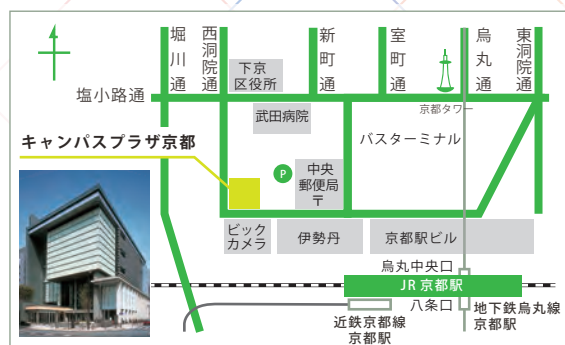


公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都 (京都市大学のまち交流センター)
TEL : 075-353-9100 (代表) / FAX : 075-353-9101
<http://www.consortium.or.jp/> 



大学コンソーシアム京都の Facebook ページでは、事業情報やトピックス、イベント情報などを随時アップデートしていますので是非ご覧 (いいね！して) ください！
<https://www.facebook.com/consortium.kyoto>



(2017 年 6 月発行)